



2026年2月18日
西日本旅客鉄道株式会社

郷土料理を伝承する「駅弁文化」について 「駅弁シンポジウム」開催のおしらせ

当社は、令和7年度に採択された文化庁「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業「～郷土料理を伝承する日本固有の食文化～『駅弁』の調査研究・価値再構築事業」において、JR各社及び駅弁事業者、有識者の方々、地方自治体など多くの皆様のご協力をいただきながら、駅弁の調査研究に取り組んでまいりました。この度、本年度の駅弁の調査研究結果を広く発信する場として、京都鉄道博物館において「駅弁シンポジウム」を開催いたします。

■企画概要

【テーマ】郷土料理を伝承する「駅弁文化」について

【開催日時】3月15日(日) 午後1時30分～午後4時

【開催場所】本館3F ホール(出入り自由)

【登壇者】相模女子大学社会マネジメント学科 教授 湧口 清隆(ゆぐち きよたか)氏
梅花女子大学食文化学科 教授 東四柳 祥子(ひがしよつやなぎ しょうこ)氏
県立広島大学地域創生学部 教授 杉山 寿美(すぎやま すみ)氏
サレジオ工業高等専門学校専攻科 客員教授 堤 一郎(つつみ いちろう)氏
一般社団法人日本鉄道構内営業中央会 事務局長 松橋 信広(まつはし のぶひろ)氏
西日本旅客鉄道株式会社コ-ポレートコミュニケーション部鉄道文化推進室 奥山 喜文

【参加方法】参加無料 ※要入館料 ※開催時刻の15分前より開催場所を開場します。

【定員】70名

【スケジュール】

13:30～13:35 開会挨拶 京都鉄道博物館長 松岡 俊宏(まつおか としひろ)

13:35～14:20 研究報告「食文化としての駅弁と今後のあり方について」

西日本旅客鉄道株式会社コ-ポレートコミュニケーション部鉄道文化推進室

奥山 喜文(おくやま よしふみ)

14:20～14:35 休憩

14:35～16:00 パネルディスカッション

「食文化としての駅弁と今後のあり方について」

■その他

上記シンポジウムのほか、京都鉄道博物館では、駅弁の特集展示を行っております。

<参考：令和7年度「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業（文化庁）>

https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/syokubunka_story/94158401.html

今回ご案内の取り組みは、SDGs の 17 のゴールのうち、特に 4 番、11 番に貢献するものと考えています。

